

鹿児島郡地区の国・県指定文化財

令和4年4月末日現在

1 国指定

(1) 重要無形民俗文化財

名称	地域	指定年月日
① 薩摩硫黄島のメンドン	硫黄島	平成29年3月3日
② 悪石島のボゼ	悪石島	平成29年3月3日

(2) 天然記念物

名称	地域	指定年月日
③ アカヒゲ	南西諸島	昭和45年1月23日
④ オカヤドカリ	県本土南端部、南西諸島	昭和45年11月12日
⑤ カラスバト	三島・南西諸島	昭和46年5月19日
⑥ アカコッコ	トカラ列島	昭和50年2月13日
⑦ エラブオオコオモリ	口永良部島、トカラ列島	昭和50年2月13日
⑧ イイジマムシクイ	トカラ列島	昭和50年6月26日
⑨ 薩摩黒島の森林植物群落	黒島	平成23年9月21日
⑩ 宝島女神山の森林植物群落	宝島	平成24年9月19日

2 県指定

(1) 無形民俗文化財

名称	地域	指定年月日
⑪ 三島村硫黄島の九月踊り	硫黄島	平成2年3月23日
⑫ 黒島の盆踊り	黒島	平成25年4月23日

(2) 天然記念物

名称	地域	指定年月日
⑬ トカラウマ	としまわら十島村	昭和28年9月7日
⑭ タモトユリ	くちのしま口之島	昭和28年9月7日
⑮ ミシマサワガニ	黒島、口永良部島、宇治群島	平成25年4月23日
★ ⑯ 諏訪之瀬島ナベダオのツクシヤマザクラ群	諏訪之瀬島	令和4年4月26日

★ 最新の県指定

文化財って何だろう?

日本の長い歴史のなかで生まれ、今日まで守り伝えられてきた古い建物や美術品、生活や習わしなどのことです。一度失ってしまうと、二度とはもどらないのです。わたしたちは、この文化財をこの先もずっと守っていく責任があります。

どんなものがあるの?

有形文化財

建造物、絵画、彫刻、古い文書など形のあるもので、価値の高いもの
 ★ 国や県、市などが指定する指定有形文化財と、所有者が自ら申請することで登録される登録有形文化財がある

無形文化財

紙すきの技術や日本古来の伝統芸能（雅楽、能楽など）の技能など形のないもので、価値の高いもの

民俗文化財

地域で長い間守り伝えられた風習や行事、お祭りや踊りなど、人間のくらしの移り変わりを知ることのできる用具など

記念物

自然が作り出す珍しい風景や、希少で珍しい動植物、昔のお城の跡、古墳、庭園など

伝統的建造物群

昔からの古い町並みや建物のまとまりを残していくために設けられた地区のこと

令和4年度

鹿児島郡地区文化財

国・県指定文化財



写真提供：十島村教育委員会

十島村村制施行 70周年記念の碑
 十島村日本復帰
 (十島村役場・令和4年2月建立)



有人7島を結ぶ「としま2」

わたしたちの地区には、たくさんさんの文化財があるんだね。
 自分の地域にある貴重な文化財を、もっと調べてみよう。



悪石島のボゼ

鹿児島教育事務所

鹿児島郡地区の国・県指定文化財



国指定
県指定

十島村 全域
三島村

十島村 全域
③アカヒゲ
⑥アカコッコ
⑦エラブオオコウモリ
⑧イジマムシクイ
⑬トカラウマ



① 薩摩硫黄島のメンドン《国指定》

熊野神社では、旧暦8月1、2日に地域の人の邪気を祓う八朔太鼓踊りが行われます。太鼓踊りの途中で仮面神メンドンがあらわれ、見物人を追いかけて手に持ったシバで悪魔祓いをします。平成30年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。
※祓う・神に祈り 災いなどを取りのぞく

② 悪石島のボゼ《国指定》

悪石島では、旧暦7月7日～16日に公民館の庭などで精霊を慰める盆踊りが行われます。盆踊り最終日には仮面神ボゼが現れ、邪気祓いのために、棒を持ち人々を追い回します。平成30年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。
※邪気・病氣、災いなどを引き起こす悪い気



③ アカヒゲ《国指定》

全長約14cmでスズメくらいの大きさです。林の中を飛びながら、よく澄んだ声でさえずります。体の上は赤茶色ですが、雌は顔から胸が白いのに対し、雄は黒くなってヒゲのように見えることからこの名前が付けました。



④ オカヤドカリ《国指定》

ヤドカリの仲間です。大きくなると海岸付近の陸上で生活します。昼間は草むら、石の下におり、夜になると砂浜や水辺に出てきて、えさをあさります。野菜や魚を好んで食べます。



⑤ カラスバト《国指定》

全長約40cmで、鳩より2回りほど大きい鳥です。よく茂った林の中で生活し、シイやツバキなどの実を食べます。光沢のある黒色の体で、留鳥として県内のほとんどの島にいます。
※留鳥・一年中ほぼ同じ地域にすむ鳥



⑥ アカコッコ《国指定》

全長約23cmで、ツグミぐらいの大きさの鳥です。主に薄暗い林の中で生活し、地上を移動しながら、ミミズなどの小動物や果実を食べます。日本以外には見られない鳥で、トカラ列島と伊豆諸島だけにいます。



⑦ エラブオオコウモリ《国指定》

翼を広げるとカラスとほぼ同じ25cmほどの大きさです。昼間は林の中の樹にぶら下がって休み、夜になるとガジュマルやアコウの実や葉を食べます。口永良部島は、世界のオオコウモリ類の生息北限地です。
※北限・世界で最も北の限界



⑧ イジマムシクイ《国指定》

近年、開発などにより、数が少なくなっています。全長12cmでスズメより小さい鳥です。薄暗い林の中に生息し、枝葉の間をせわしく動きまわります。夏にトカラ列島、伊豆諸島や南西諸島に飛んで来ます。



⑨ 薩摩黒島の森林植物群落《国指定》

三島村で、一番西にある島が黒島です。黒島にはアカガシやシイ林に生えるハラケイビランなどの植物群落が良い状態で残されています。



⑩ 宝島女神山の森林植物群落《国指定》

宝島にある女神山は、聖地として木々の伐採が厳しく禁じられています。タブノキ、スタジイ、ヒロウ、ウバメガシの林など、学術的に貴重な自然林が残されています。



⑪ 三島村硫黄島の九月踊り《県指定》

熊野神社に奉納する踊りで旧暦9月10日・11日の2日間行われます。決まりごとが多く女性だけの難しい踊りです。1日目の踊りは、お伊勢参り道中の様子を表し、2日目の踊りは伊勢神宮に参拝する様子を表しています。

⑫ 黒島の盆踊り《県指定》

三島村の黒島にある片泊・大里の2つの集落には、お盆の時期に同じ時間帯に踊られる独特の盆踊りがあります。いずれも、病氣や災害などで亡くなった人の霊をなぐさめる踊りです。



⑬ トカラウマ《県指定》

体高110～120cmの栗色をした小さな馬で、たてがみ、尾などの毛が長いです。日本に昔からいる馬です。明治時代に喜界島から宝島に十数頭入ってきています。現在、県内各地で飼育されています。



⑭ タモトユリ《県指定》

口之島だけに自生していた純白のユリで、口之島西海岸の「タモトが浦」の断崖に咲いています。草丈は60～70センチで、初夏に約15センチの花が天に向かって咲きます。乱獲から野生のものは絶滅し、現在は地元の方々の手で保護増殖活動が行われています。



⑮ ミシマサワガニ《県指定》

三島村の黒島、屋久島町の口永良部島、南さつま市の宇治群島にのみ生息しています。数が少ないため、絶滅の危機にさらされています。
※絶滅・死に絶え、滅びること



⑯ 諏訪之瀬島ナベダオのツクシヤマザクラ群《県指定》

諏訪之瀬島は、ヤマザクラが咲く最も南の地です。台風などで倒れ、根元から枝分かれして大木となっています。さらにヤマザクラより花が大きく、白色で芳香がするなどの特徴があり、ここではツクシヤマザクラと呼べるとも貴重なものです。



※ アカヒゲ、オカヤドカリ、カラスバト、アカコッコ、エラブオオコウモリ、イジマムシクイ、ケイビラン、トカラウマの写真は県立博物館提供。タモトユリの写真は、口之島小中学校提供。諏訪之瀬島ナベダオのツクシヤマザクラ群の写真は、県教育庁文化財課指定文化財係提供。